

問い合わせ先 菊池族プロモーション室 ☎0968(25)7267

九州制覇

筑後川の戦い

1352(正平7)年、中央における北朝勢の内紛に決着がつくと、九州の三つ巴状態も解消されました。菊池への服従を誓ったはずの少弐頼尚は、その

舌の根も乾かぬうちに武光に對抗し、いよいよ1359(正平14)年、両者は現在の福岡県小郡市で激突することになります。「筑後川の戦い」(大保原合戦)

と呼ばれるこの戦いは、日本三

大合戦の一つに数えられるほど大規模なもので、南朝勢4万騎に対して、北朝勢は6万騎と言われる大軍勢で筑後川の対岸に立ちただかりました。

数の不利を覆すため、武光は一計を案じます。針摺原の戦いで頼尚を救援した際に渡された血判状「子孫七代に至るまで菊池に弓引くべからず」を旗の先にくくりつけ、両軍からよく見えるようにして行進したので、戦うための大義名分が何よりも大切だったこの時代、大将の不

徳な行いを見せつけられた北朝勢は大いに士気を下げることになったことでしょう。

南朝勢はこの戦いに勝利。その後、九州の北朝勢を一掃して九州制覇を成し遂げます。筑後川の戦いの痕跡は「大刀洗」「宮の陣」など、現在も地名の中に見ることが出来ます。

征西府の絶頂期

少弐氏の追討後、征西府は菊池から大宰府に移されました。当時、大宰府は九州の中心地であり、菊池一族がかつて官位にあつたとき、大いに繁栄していた時代の象徴的な場所でもあったため、この場所を押さえることは一族の悲願でした。征西府は12年間にわたってこの地に本拠を置き、菊池一族の黄金時代を築くことになるのです。

幻の都 城下町菊池

絵・文／橋本以蔵

第一章

武光公の築いた絢爛たる都



其の4 菊池本城御殿・松囃子能

現在も国指定重要文化財である松囃子能が御松囃子御能保存会によって継承されており、菊池神社の秋の例大祭で10月13日に奉納されています。この能の始まりは武光が御殿内において懐良親王のために催した新年の祝い事からと伝えられており、華やかな宴が繰り広げられていました。

大宰府の征西府がいかに繁栄を謳歌していたかを物語る逸話が残っています。海賊、倭寇に頭を悩ませた当時の中国王朝・明が、京都の北朝や奈良の南朝ではなく、大宰府の懐良親王にこの取り締まりを命じる使者を出したのです。使者の横柄な態度に激怒していた懐良親王でしたが、「明の後ろ盾」という魅力に着目。その後、明と正式に約束を交わし、「日本国王良懐」として朝貢貿易が認められました。

わいふ一番館

問い合わせ先 わいふ一番館 ☎0968(24)6630

【ギャラリー】

怒留湯誓個展「花と鳥と風景の絵画展」

郷里の美しい四季の風景や諸外国の旅の思い出などを表現した作品群です。小鳥や花を細密イラストで表現。
期間:8月6日(火)~18日(日)

原色押し花 菊池グループ展

野に咲く可憐な花たちに語り掛けながら、額の中で一度の命を、と心を込めて創作いたしました。
期間:8月20日(火)~9月1日(日)

菊池武光生誕700周年特別展「武光-九州を征した男-」

南北朝時代の当時の菊池の様子や武光の戦績を描いた絵画を中心に、九州制覇を成し遂げた武光の生涯を紹介いたします。9日(金)午前9時から開会式・展示開設を実施。
期間:8月9日(金)~12月1日(日)

開館時間 午前9時~午後5時

休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)

菊池観光交流館

問い合わせ先 菊池観光協会 ☎0968(25)0513

こころ和み展

着物をリメイクしたワンピース、スカート、草木染のショール、布雑貨、ハーブアレンジメントなど、心が和む品々を展示します。
期間:8月24日(土)~25日(日)



菊池南中学校美術部作品展

菊池南中学校美術部の皆さんの作品を展示いたします。元気いっぱいの作品をぜひご覧ください。
期間:8月26日(月)~9月8日(日)



開館時間 午前9時~午後6時

休館日 なし(点検などで臨時的に休館する場合あり)